

教員紹介

《福岡歯科大学》

●細胞生理学分野 教授 藤田 亜美

就任



（略歴）九州大学理学部卒。同大学院理学研究科修了。日本学術振興会特別研究員、佐賀大学医学部生体構造機能学講座助教、同講座准教授、福岡歯科大学機能生体化学講座生化学分野教授を経て、2022年10月1日、同大学細胞分子生物学講座細胞生理学分野教授に就任。博士（理学）。

●口腔医学研究センター 教授 北尾 洋之

就任



（抱負）歯科医師となるために必要な生理学的知識を得てもらえるように、生理学を体系的に説明するだけでなく他の科目との関わりについても紹介していきたいと思っています。また、生薬などに含まれる化学物質が痛み情報伝達をどのように修飾するのか、その構造・活性相関研究などに取り組みたいと思います。

（略歴）京都大学理学部卒。同大学院理学研究科博士課程修了。米国ハーバード大学博士研究員、川崎医科大学医学部助手、広島大学原爆放射線医科学研究所、京都大学放射線生物研究センターを経て、九州大学大学院医学研究院准教授、同薬学研究院教授を経て、2022年12月1日、福岡歯科大学口腔医学研究センター教授に就任。博士（理学）。

（抱負）がん治療は急速に進歩しており、がんは必ずしも不治の病ではなくなりつつあります。それを支えるのは基礎医学に基づく疾患の理解です。基礎医学研究を推進し、学生教育においては基礎医学の理解を深め、臨床とのつながりを意識した教育を行いたいと考えています。

●訪問歯科センター 准教授 今井 裕子

昇任



（略歴）鹿児島大学歯学部歯学科卒。福岡大学医学部生理学講座特別研究員、九州大学大学院歯学部歯学専攻博士課程修了（全身管理歯科学）。九州大学病院高齢者歯科・全身管理歯科助教、福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センター講師を経て、2022年12月1日、同大学総合歯科学講座訪問歯科センター准教授に昇任。博士（歯学）。

●生化学分野 准教授 林 道夫

昇任



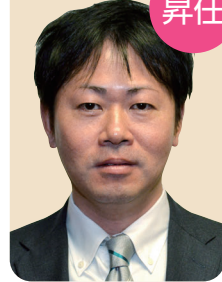
（抱負）全身疾患を有する患者さんにおいて、歯科診療所、病院、施設、在宅のどこであつても最適な歯科医療の構築を目指したいと考えております。訪問診療を通して本学内外の医科・歯科およびその他多職種連携の強化を図り、健康寿命の延伸やQOLの向上につながる歯科医療に積極的に貢献したいと考えております。

（略歴）広島大学工学部卒。同大学院工学研究科工業化学専攻博士課程修了。日本シーリング（株）正社員、東京大学分子細胞生物学研究所研究員、福岡歯科大学生化学分野助教、同分野講師を経て、2022年12月1日、同分野（化学）准教授に昇任。博士（工学）。

（抱負）これまで第2学年の生化学を担当してきました。その中で第1学年において習得すべき化学の考え方や知識が定着していない学生が見受けられました。このような学生に対する方策として、口腔歯学部に特化した身に付く化学を実践していきたいと考えています。

●生化学分野 准教授 橋口 一成

昇任



（略歴）京都教育大学教育学部卒。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。米国国立衛生研究所NIH客員研究員、東北大学加齢医学研究所博士研究員、京都大学大学院理学研究科動物学教室助教、（独）医薬基盤研究所（現・国立研究開発法人医薬基盤健康栄養研究所）特任研究員、福岡歯科大学先端科学研究センター助教、同大学機能生体化学講座生化学分野講師を経て、2022年12月1日、同大学生機能生体化学講座生化学分野准教授に昇任。博士（理学）。

●感染生物学分野 准教授 永尾 潤一

昇任



（抱負）学生目線での授業を心掛けてきました。口腔医学の基礎となる生化学について、学生が何をいかに身に付けたかにウエイトを置いた講義実習を実践したいと考えています。研究は貫いて、酸化ストレスを中心に取り組んできました。酸化ストレスからケノムを防御する生体応答を解明することを通して、新たながん治療薬の創出を目指します。

（略歴）九州大学農学部卒。同大学院生物資源環境科学府博士課程修了。京都大学大学院農学研究科COE研究員、福岡歯科大学機能生体化学講座感染生物学分野助教、同分野講師を経て、2022年12月1日、同分野准教授に昇任。博士（農学）。

（抱負）専門である微生物学と免疫学を通して、教育・研究の両面で口腔医学の実践に貢献したいと思っています。教育では、専門知識だけでなく、リサーチマインドを持った歯科医師の育成に尽力します。研究では、歯周病などの口腔感染症の病態形成メカニズムを解明し、新しい予防・治療法の開発を目指します。